

夢知らせのお犬様

千葉県野田市木野崎 石山 巳代子

私は四十三年前、十七代続いた旧家の石山家に嫁ぎました。
ある時主人の知人より「石山さんの家は旧家だけど代々男の人は長生きしないのではないか」と言はれ、調べてみましたら今までの当主は、四十代、五十代そこそこで皆亡くなっているのです。その人の話しによりますと、家に祭ってある、大神宮様の場所が悪いとの事でした。



古い造りなので、天井が物を入れる踏天井となっていて、それも太い角材が大神宮様に突き刺す様な造りになっていたのです。その為に病気で早死にすると言はれ、主人はその日のうちに大工さんを頼み付け替えました。ところがその場所には、昔よりお犬様の箱札が下げてあったのです。何の気なしに主人はそれを片付けてしまったのです。

それが私に夢知らせとなって現れたのです。夜中私の寝ている体の上に大

場所がなくなった事、それを叱って私に告げたのではないかと深くお詫びし、元にあった場所に大神宮様と一緒に祭り、早速御嶽神社に参拝しこの事を話して調べて頂きました。

それによりますと、明治十年先代が講元として数十年参拝し

信仰していたことが解りました。その後その先代が亡くなりそのままになっていました。この事があってから毎年参拝して居ります。
現在主人共々六十八才を迎へ元気に暮らして居ります。
これも迷信ではない目に見えない神の恵みではないかと感謝の気持ちで毎日過ぎて頂いて居ります。

夢知らせ犬神様の導引きていつも元気に共白髪かな



綾広の瀧 川合玉堂



御嶽神社 高橋泥舟

御岳山ゆかりの文人墨客展 (10月9日(金)~12月6日(日)) 宝物殿にて開催 (木曜休館)

近世より明治維新を経て現代にいたるまで、御岳山を訪れ作品を残した文人墨客は多岐に渡り、枚挙にいとまがない。画聖川合玉堂、前田青邨、松林桂月、書家、高橋泥舟、山岡鉄舟、彫刻界の巨匠北村西望等先人が残した墨書、絵画、彫刻を一堂で紹介展示。



新神楽鑑賞会

恒例の新神楽鑑賞会が、10月10日(土)・11日(日)2日間にわたって午後7時より鳥居前広場特設会場で行われる。演目は、神楽四座のほか、巫女舞『浦安の舞』を上演する。

巫女舞講習開かれる

当神社には、都無形民俗文化財に指定されている太々神楽があり代々男性神職により伝承されている。

時代の変遷により当社でも女性が社家の後継者として認められることになった。そうした中でこれら女子後継者の間で巫女舞を修得したいと云う気運が高

まり、八月に長期の講習会が行われた。今回の講習は昭和天皇の御製を舞にした「浦安の舞」を習う事になった。巫女舞は名の通り巫女が神前で舞う舞の総称である。指導者は社家の子女で神社音楽協会の指導資格を持つ金井三輪子さんをお願いし受講生は社家の娘たち七名である。最終日扇の舞・鈴の舞を神前に奉告舞を行った。巫女達は十月十日と十一日に行われる新神楽の日に晴れの舞台を踏む。



絵馬掛の奉納

朝霞市の宮戸講中(講元高橋清二氏以下六十一名)により高純度ステンレス製の絵馬掛が奉納された。九月十日講中の方々により慎重に搬入され起工式の後、建替工事が行われ、十一日黒田宮司の齋主のもと竣工祭が執り行われた。
秋の日射しに光り輝く見事な絵馬掛が完成した。



太々神楽奏上講

(平成9年6月1日) 平成10年5月31日)

仏法僧と探鳥の集い・和光市 原新田講・日の出町 谷ノ入講・川崎市 市の坪講・練馬区 大泉幸西講婦人部・カンタンの声を聞く会・川越市 今福原講・三芳町 上富上組講・町田市 下小山田土地区画整理組合・蓮田市 黒浜講・青梅市 榎荒井電業社・川島町 吹塚新田講・三鷹市 三鷹農業協同組合・川崎市 馬絹講・日立市 日立高速印刷(株)・横濱市 黒須田御嶽講・川崎市 新城講・川崎市 下作延講・練馬区 向山講・横濱市 羽沢御嶽講第五区・川崎市 菅之間講・浦和市 町公講・町田市 上小山田町平講・瑞穂町 鈴木教会・青梅市 友田黒田講・川崎市 菅稲田堤講・横濱市 池辺西部講・江戸川区 船堀太々講・秦野市 秦野太々講・練馬区 貫井御嶽講・川崎市 上麻生御嶽講・横濱市 篠原講・世田谷区 大蔵本村講 松戸市 松戸御嶽講・横濱市 子安入江講・川崎市 小杉御嶽講・大田区 六郷参拝講・横濱市 保土ヶ谷太々講・川崎市 小杉御嶽敬慎講・仏法僧と探鳥の集い・町田市 上山崎講・川崎市 今井講